



国民民主党代表

玉木雄一郎

インタビュー

9月に行われた国民民主党の代表選挙で再選された玉木雄一郎代表に、これから国民民主党として何を実現していくのかインタビューしました。この号外では一部を抜粋してお届けします。

代表選で訴えたこと

国民民主党は「給料が上がる経済」を実現することに全力で取り組んでいます。そのことを党员やサポーターだけでなく、一般の方にも広く訴えることができました。

秋の臨時国会も「持続的賃上げ実現国会」にしていきます。今年は30年ぶりの大幅な賃上げがありましたが、この流れを来年以降も継続させる必要があります。また、大企業だけでなく、中小企業や非正規の方の賃上げが可能となるような経済政策を提案し実現していきます。

国民民主党の果たす役割

働く者、生活者の立場に立って、今必要な政策をどんどん提案し実現していきます。自公政権ではできない、また、他の野党でもできない新しい政策、「新しい答え」をつくっていきます。それが、国民民主党がこれまで果たしてきた、そしてこれからも果たしていかなければいけない重要な役割です。

特に、持続的賃上げを実現する政策を最優先の政策として出していきたい。具体的には、改めてガソリン値下げを実現し、中小企業が賃上げできる環境を整備していきます。国民民主党は、これからも生活に密着した、生活者、納税者、消費者、働く者の立場に立った政策を提案して実現していきます。

こうした活動がスピーディにできるのは国民民主党だけです。引き続き、国民の期待に応えることができるようがんばっていきます。



全文は機関紙「国民民主PRESS」10月号で！
購読案内はこちら



つくろう、新しい答え。国民民主党

新・国民民主党、3年間の歩み

2023年9月15日、国民民主党は結党3周年を迎えました。国会議員15名、地方議員0名での「小さな船出」から、「対決より解決」「つくろう、新しい答え。」を旗印に未来を先取りする政策を提案・実現し、また着実に支持を広げてきた3年間の歩みを振り返ります。

2020



党務

9月 結党

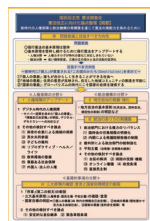
国会議員15名（衆議院議員7名、参議院議員8名）、地方議員0名からの「小さな船出」

12月 代表選挙2020

伊藤議員・玉木議員が立候補、玉木代表が選出
都道府県連の数が0→20に

政策

12月 ● 憲法調査会「憲法改正に向けた論点整理」を発表



2021



9月 結党1年

新ポスター・重点政策発表

10月 衆議院議員総選挙

小選挙区21名、単独比例候補6名の計27名を公認候補として擁立
議席増(8→11)！
比例250万票獲得！

12月 「来たれ！解決のエキスパート」始動、全国キャラバンの開始

2月 ● 総合支援資金の貸付枠を140万円から200万円に拡大

● 孤独・孤立対策担当大臣が新設

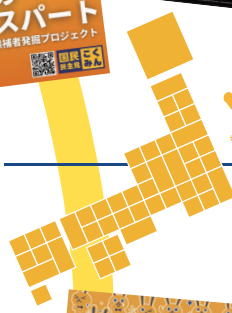
3月 ● 不育症の検査に対する助成金が創設

4月 ● 「豊かな人間社会を回復するためのコロナ三策」を発表、デジタル証明書が実現

10月 ● トリガー条項の凍結解除を公党で初めて公約に追加



2022



4月 47都道府県すべての都道府県連が設立！

5月 参議院議員選挙に向けた重点政策を発表

7月 参議院議員選挙

選挙区13名、全国比例候補9名の計22名を公認候補として擁立、5名が当選、議席は減らしたものの
全国得票率は22%増！
315万票獲得！

3月 ● ガソリン補助金の拡充によるガソリン値下げを実現

12月 ● 電気代値下げ策として、事業者向けに1kw当たり3.5円、個人向けに1kw当たり7円相当の補助金を措置

12月 ● 「国民民主党の安全保障政策2022」を発表、政府に申し入れ

2023



4月 統一地方選挙

全国各地に国民民主党地方議員が誕生※

6月 国民民主党パーティーを開催
来場者は1200人超え

9月 代表選挙2023

玉木議員・前原議員が立候補、玉木代表が選出



6月 ● 児童手当の拡充・所得制限撤廃を盛り込んだ「こども未来戦略方針」が閣議決定

7月 ● 2023年春闘にて30年ぶりの高い賃上げ率を実現(定期昇給相当分込み)

国民民主党の
提案と実績、
くわしくはこちら



※ 地方議員数の推移
2020年9月(結党時): 0人 → 2020年12月1日時点(2020代表選時): 153人 → 2021年7月31日時点: 175人 → 2022年7月31日時点: 222人 → 2023年7月31日時点(2023代表選時): 271人

国民民主党はこれからも
「対決より解決」の姿勢で政策を実現していきます。